

第2回基山町まち・ひと・しごと創生推進会議

(要点筆記)

日 時：平成27年9月4日（金）9時30分～11時10分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：13人

森田昌嗣会長、平瀬有人副会長

永家重光、田口英信、原憲一、内山順子、芳野勇一郎、實松尊徳

柴田廣孝、渡邊透、村瀬登、田中光一、松田一也

欠席委員：1人

森栄利

事務局：3人

総務企画課：酒井課長、久保山係長、下川

傍聴者：6人

1 開会

2 町長あいさつ

3 議事

(1) 基山町人口ビジョン（骨子案）の修正について

(2) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略《具体的な施策》について

(3) その他

・次回以降の会議の開催時期について【予定】

(第3回) 日時：平成27年10月5日（月）10時00分～12時00分

場所：基山町役場4階大会議室

事務局進行

1 開会

省略

2 町長あいさつ

省略

3 議事

(1) 基山町人口ビジョン（骨子案）の修正について

事務局より説明

－質問等－

・特になし

(2) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略《具体的な施策》について

事務局より説明

【①基山町における新たな雇用を創出する】

－質問等－

- ・ ソーシャルビジネス企業の支援事業で創業支援計画は検討しているのか。
⇒現在のところ策定していないが、今後創業支援計画を策定して支援する必要があると考えている。
- ・ 提案としてソーシャルビジネスをやりたい方を対象に、ビジネスコンテストを行い、最優秀の方には、空き家の優先紹介・創業のための助言等を支援することで、移住・定住促進・雇用創出に繋がるのではないかと。
⇒定住対策として、今年度空き家の調査を行うため、内容については今後検討していきたい。
- ・ 3年前に区長会に空き家の調査の依頼があり調査を行ったが、その後は空き家の利活用について進んでいるのか。
⇒3年前には、危険のある家屋調査を行った。今年度については、利用可能な空き家、朽廃した空き家の調査を進めていく。利用できる空き家については、空き家紹介等を行い、人口増対策につなげる取組を行っていく。朽廃した空き家については、取り壊すような指導を行っていきたいと考えている。
- ・ 六次産業でエミューの取組をしているが、エミューの活用として、肉、化粧品の販売を検討しているということだが、これらを販売する店舗の設置については、バイパスの旧料金所付近を活用するなど、早急に進めてほしい。
⇒エミューについては、現在レトルトのカレーを試作している。2月に開催予定のKAPPO事業において、居酒屋でエミューを使った料理を提供してもらおうよう検討している。油については、現在分析をしており、シャン

プーの試作を行っている。また、卵の殻、羽根についても活用を検討している。直売所については、食品リサイクル等を合わせた複合施設にできないか、調査を来年2月より行いたいと考えている。

- ・今後、高齢者の世帯が増えていくので空き家がたくさんでてくると思う。基山独自の視点として、空き家の活用方法を発信することが有効だと思う。
⇒今後、空き家調査を進めていく。空き家の活用として、住宅のマッチングだけでなく、色々な分野で国の方向性を見ながら検討していきたい。
- ・金融機関として、空き家の改装が必要な場合に、資金の融資ができる場合があるのではと考えている。
⇒金融機関とも連携しながら進めていきたい。
- ・観光面からの宿泊施設等の雇用の検討をしているか。
⇒自然・文化・観光を活かしたまちづくりを検討しているが、雇用に繋がるようにしていきたいと考えている。
- ・商工業の問題として、既存の商店の後継者不足、高齢化により廃業するケースが増えている。空き店舗の活用も大変であるが、店がなくなるのを歯止めするために、後継者対策、事業承継の対策という課題を町と商工会が連携して勉強会など支援の検討をしていただきたい。
⇒創業支援と併せて、後継者の支援、事業継承の支援を商工会と連携して取り組んでいきたいと考えている。
- ・店舗の経営をコンテスト形式により事業者を募集し決定するという試みが全国で行われているので、町・県から支援をいただいて進めていければと考えている。
- ・国では、後継者対策ということで、第三者に事業を継承するための相談・紹介窓口として、事業引継支援センターを県、商工会主催で起ち上げている。佐賀県においても、今後進めていきたいと考えている。
- ・基山を通過する方が、立ち寄りたいたいと思えるような魅力ある店舗づくりへの支援を考える必要がある。
⇒来年の4月にモール商店街の空き店舗に保育園を移転させることを検討している。また、山間地に新しい動きがあると、同じ考えの人が集まってくるので多面的に取り組んでいきたいと考えている。

【②基山町を通過点から交流拠点へ】

－質問等－

- ・トイレマップ作成に当たっては、車いす対応、洗浄機能付き、多目的トイレ、ベビーカー等表示することを検討してほしい。
⇒検討したい。
- ・自治体で地域資源や観光資源のふるさと応援宣言したものに対して、関連する商品開発を行った事業者に対して支援する取組を進めている。基山町でも地域資源づくりの取組を進めていただければ。

- ・基山ブランドを発信する際に、ストーリーを持たせて発信すると良いのでは。
- ・公衆トイレ、直売所、キヤマテラスなど、入札ではなくデザインコンペなどを行うことで、デザインの統一感がでるのではないか。
- ・基山PAをスマートインターチェンジにすると基山を訪れる人が増えるのではないか。現在検討しているか。
⇒スマートインターチェンジについては、今のところ計画はしていない。

【③子どもを育てたくなる基山をめざして】

－質問等－

- ・子育て支援策などにおいて周辺の他市町より基山町をPRするために、特徴的な施策をPRした方が良いのではないか。
⇒内容を検討したい。
- ・育児サポートセンターを行っているが、現在時間を設定している。子育てサポートセンターは24時間を検討しているのか。
⇒24時間は検討していない。相談内容の幅を広げていく。

(3) その他

事務局より（資料3）の説明

(第3回) 日時：平成27年10月5日（月）10時00分～12時00分
場所：基山町役場4階大会議室